

まちかど アルバム



若桜街道ほか

七夕笹かざりで商店街ににぎわいを

7月2日(月)、「まちづくりレディース鳥取」(松本由美子会長)が、若桜街道などの中心市街地商店街に「七夕笹かざり」を設置しました。今年で4回目の行事で、あちこちの店先に飾られた笹の数は全部で100本。商店街で季節を感じながら、伝統行事に親しめるイベントとして企画されました。笹には、「商売繁盛」・「早く大きくなりたい」などの願い事を書いた短冊が飾られていました。職場体験で市役所広報室の一員として取材した湖東中学校2年の諸山航平君と村上智廣君も、短冊を飾り付けました。願い事は秘密だそうです。

用瀬地区保健センター

オカリナの優しい音色に包まれて

オカリナ奏者として国内外で活躍する本谷美加子さんの「星まつりチャリティコンサート」が7月6日(金)、用瀬地区保健センターで開催されました。コンサートには、用瀬地域の園児や児童、デイサービス利用者など約350人が招待され、ギター奏者、平岡雄一郎さんとの合奏に耳を傾けました。オカリナを初めて耳にした子どもたちも、おなじみのアニメソングなどが演奏されると、一緒に口ずさんでいました。会場は、オカリナの優しい音色に包まれていました。



西町二丁目

笑顔になるパンを作っています

6月21日(木)、西町二丁目に「かめのパン屋さん」が開店しました。同店を運営するのは、知的障害者通所授産事業などを手がける社会福祉法人「手をつなぐ福祉会」(本多達郎理事長)。スタッフ代表の岡村陽子さんが「やる気いっぱい。みんなが笑顔になるパンを作りたい」と抱負を述べた後、関係者がテープカットを行い、オープンを祝いました。この日は、記念品として、焼きたての食パン30斤が配られました。



青谷海岸

漂着物で楽器を作製

7月7日(土)と8日(日)、「自然アートから地球と自分を感じる力を養う」をテーマに創作楽器を作る教室が、青谷海岸で開かれました。講師は、ハワイ島在住の自然セラピストでフリーダイビングインストラクターの菅原真樹さん。小学生とその保護者など約50人が参加し、海岸に漂着したペットボトルや漁具、貝殻、流木などで楽器を作りました。参加者は、波や鳴り砂の音を聞きながら、菅原さんの奏でる太鼓のリズムに合わせて自作の楽器を自由に演奏するなど、有意義な一日を過ごしました。





さじアストロパーク

星に願いを

7月7日(土)、さじアストロパークで恒例の「七夕まつり」が行われました。県内外から訪れた来館者は、願い事を書いた短冊を笹につけたり、プラネタリウムで、ピアノの生演奏が流れるなか、「織り姫」と「彦星」など星にまつわる話を聞いたりして、しばし星の世界に引き込まれていました。今、夏の星座は見ごろです。みなさんも、今夜あたり夜空を見上げてみては。

河原町総合体育館

思わず手が出そうです

6月27日(水)、河原町総合体育館で「河原町高齢者健康スポーツ大会」が開催されました。河原地域にある老人クラブの会員が集い、地区対抗の玉入れや個人競技のパン食い競争など5つの種目が行われました。参加したみなさんは、とても楽しそうで、笑いの絶えない大会でした。



鹿野町^{かつたに}勝谷地区公民館

切りすぎ注意!

7月6日(金)、勝谷地区公民館で「植木の^{せんてい}剪定講座」が行われ、地元住民など25人が参加しました。庭師の林輝幸^{はやしてるゆき}さんを講師に迎え、午前は室内での講義、午後は公民館の松などを利用して実技指導を受けました。家族から「だれだいや、こんなんに切ったのは〜?」と言われないうように、参加した人の目は真剣でした。

八坂

いっぱい捕れたよ

おうぎのせん 扇ノ山

登山の後の流しソーメンは最高!

本格的な夏山シーズンを目前に控えた7月7日(土)、国府町雨滝の^{かわいたに}河合谷高原にある「水とのふれあい広場」で「扇ノ山開き祭」が開催されました。はじめに神事が行われ、約70人の参加者がシーズン中の安全を祈願。その後、自然を満喫しながらの山登りを行いました。



下山後の昼食会では、流しソーメンなどを食べて登山の疲れをいやしました。



7月7日(土)、八坂の山白川で、小学生約400人とその保護者が参加して「第7回魚つかみ取り大会」が開催されました。これは、子どもたちに川に親んでもらうことで、その大切さや水と生き物との関わりを学んでもらおうと、

^{おおくちせき}大口堰土地改良区が開催したものです。水量を調整した川に約2千匹のヤマメが放流されると、子どもたちは捕った魚を落とさないように、慎重に袋に入れていました。